



がん患者の就労支援、充実強化へ!



みやけ府議 定例府議会で一般質問

三宅府議は3月6日、定例大阪府議会で府政に関して知事はじめ関係理事者に対して一般質問を行いました。主な質疑の概要についてご報告します。

がん患者に対する就労支援

仕事と治療の両立や就労支援のため、がん診療拠点病院における相談支援体制を充実強化する。特に各拠点病院における相談支援センターの相談員のスキルアップを図るため、大阪産業保健総合支援センターの職員や社会保険労務士などを講師とした研修会を実施。企業の人事労務担当者等を対象としたセミナーも開催する。

大阪府議会ホームページ



詳しくは、大阪府議会「議会インターネット中継」から動画を配信しています。

大阪国際がんセンターの 外来診療時間の拡充

大手前に新築移転する大阪国際がんセンターでは、仕事を持つ患者のために放射線治療の終了時間を午後7時半まで延長する。早朝、土日など、さらなる時間延長は、患者ニーズ等を踏まえ今後検討する。

がん患者に対する 緩和ケアの推進

がん診療拠点病院における担当医師の緩和ケア研修受講率は、本年6月末までに国が示す90%の目標は達成できる。引き続き、府指定のがん拠点病院や医師以外の医療従事者への受講も今後検討する。

がん教育

これまで公立中学校を対象に、大阪府がん対策基金を活用し、がん拠点病院の医師、がん経験者を講師として18市23校で実施。新年度は、私立中学校も対象に拡充を図るとともに、公私立の中学校・高等学校の教員を対象とする研修会を新たに実施する。

もん 大阪産ワインをブームに!

三宅府議は3月15日、所属の環境農林水産常任委員会で関係理事者に対し質問しました。その質疑の概要をご報告します。

●ワイン表示の新基準

国税庁は、国際基準に沿った形で、国産ワインの新表示基準を定め平成30年から実施。大阪のワイナリーの経営上の影響が考えられるため支援策を質問。府として大阪ワインのブランド力強化のため、大阪の気候に適したぶどう品種の選定や栽培技術の開発を加速化させるなど、地元産ワインとぶどう産地の活性化に取り組むとの答弁。

●子ども施設環境配慮手引書

環境農林水産部では、本年1月、保育所や幼稚園等の子ども施設における騒音等の苦情やトラブルを未然に防止するため手引書を作成。今後、子ども施設建設促進のため、建築士会や建築士事務所協会にも手引書を配布し活用働きかけを要請。

■環境農林水産常任委員会で質問



●食品ロス削減対策

食品ロス削減のため啓発シンポジウムやセミナーの開催を提案。新年度、府民はもとより食品関係団体や事業者と情報共有を行い、食品ロス削減の機運が醸成されるよう検討するとの答弁。

大阪府議会議員

三宅 史明
みやけ 史明

- プロフィール
- 公明党大阪府本部副代表
- 〳 大阪府本部議会総局長
- 〳 東淀川支部長
- 〳 大阪府議団・団長

- ・昭和29年9月大阪市生まれ
- ・上宮高校、創価大学法学部卒業
- ・東京都世田谷区役所、大阪府庁勤務を経て、平成7年大阪府議会議員選挙初当選、現6期
- ・区内北江口2丁目在住

●みやけ史明 府政相談事務所

お役に立ちます。お気軽にご相談を。

〒533-0013
大阪市東淀川区豊里6-29-7
久ービル7F
TEL 06-6370-1135
FAX 06-6370-2257
(平日:9:00~17:00)

